

細幅巻直機 Corrective rewinder for narrow width **RSF-106-200**

包装資材メーカーではPET 飲料容器用の細幅ラベルのNG巻取品は廃棄処分が一般的ですが、これを矯正巻き直することで良品に整える装置です。

廃棄されるはずだったNG品を削減することで環境負荷を低減し持続可能な社会の実現に貢献します。



イージーオペレート化による作業環境改善

巻直機の稼働する製造現場に目を向けると、少子高齢化により熟練作業員の退職が進む一方、新たな人材確保が難しくなっており、労務環境改善・人手不足解消の観点から装置にもより一層の使いやすさが求められています。そこで、私達は未経験者でも直感的に操作手順を理解することができ、従来機に比べて作業負荷軽減と安全性向上が実現された新型巻直機をコンセプトに装置の開発に取り組みました。

01 直感的な操作

ボタンのレイアウトを運転操作手順に沿った配列とし、ピクトグラムを用いて、機能を視覚的に表現しました。

02 導線を大幅に低減

従来機 RSF-105V
制御盤 (配線箱)
制御盤や機構を一方へ集約
新型機 RSF-106-200
制御盤や機構を一方へ集約
従来機では離れた位置に配置されていた制御盤や機構を一方へ集約。複雑化していた作業員の動線を改善しました。

03 省スペースな設置面積

従来機 RSF-105V
幅 1405mm
奥行 1525mm
新型機 RSF-106-200
幅 900mm
奥行 670mm
機構レイアウトを縦型に集約したことで業界最小レベルの設置面積を実現。従来の標準機の 3 分の 1 になりました。

04 安全性と防塵性を向上

カバーによって機構部と作業エリアを隔離し安全性を高め、大敵となるゴミやホコリの付着も防止します。

05 動作状況の可視化

状況に応じて内部照明の色が変わることによって機械の状態把握が直感的にできるようになりました。

06 フラッシュサーフェス化

筐体のフラッシュサーフェス化により清掃性を高めました。また、整理された外形により作業環境の美観を保ちます。